

社会福祉法人村の木清福会 ひろみ保育園/はぐみの森保育園

住 所 可児市広見 751 番地

業 種 教育

従業員 男性 9 名 女性 126 名 合計 135 名 (令和元年 12 月現在)

村の木清福会は、親子の関わり、生活習慣、しつけ、発育、食育など子育てに関する情報提供や抱えている不安や悩みについて一緒に考え、明るく健やかな子育てを支援する保育園の運営を通して地域から信頼を得ている社会福祉法人である。

岐阜県内に 3 園 4 施設を運営し、市内には、可児市の中心地に位置する県下有数のマンモス保育園で未満児の受け入れも行っている「ひろみ保育園」、自然豊かな環境の中で隣接する高齢者施設と連携している「はぐみの森保育園」がある。

「地域の人々に共感と信頼を得られる“社会福祉事業”を行い、住みやすい地域づくりに貢献し続ける」を法人理念として掲げ、「声の掛け合い」を大切にし、互いを気遣い合える温かい職場環境を作り上げることで、“保育の質”を向上させ子どもたちの生きる力を育てている。

具体的な取組の 1 点目には、有給休暇の取得が挙げられる。翌年に繰り越さないことを目標に年次有給休暇の取得率は 99% で、勤務シフトなど取得日が重ならないよう職員同士がコミュニケーションを取り合い、仕事のバランスを取っている。結婚休暇の利用者が新婚旅行から帰って来るとお土産と写真が回って来るエピソードから、職員同士の仲の良さが伝わってくる。

2 点目は、相談窓口の設置である。職員 2 人が相談者となっている他、内部の者に言えない相談については顧問弁護士に相談できる体制を取っている。また、ありがとうを言い合うサンキューメッセージやレクリエーション部によるバーベキューやブドウ狩りなど年 4 回のお出かけにより職員間の親睦が深まる取組が行われている。

3 点目は、離職防止のため取組である。職員全体会議では、普段は読まれることのない就業規則について説明を行っている他、病気や家庭の都合による離職防止のため、傷病で休む場合は、労災や傷病手当金の活用により、収入減を防ぐことや休業制度の説明を行い、しっかり休んで回復させることの大切さを伝えている。今年度は、短時間勤務制度の導入により結婚をきっかけとした離職の防止に成果を上げている。

さらに、事務の効率化のため、情報共有、引継ぎ、報告書の作成など、タブレット端末の導入による ICT 化を進め時間に余裕をつくることで、保育士と子どもの接する時間と質の向上に努めている。

このように、大切にされた職員がきらきら輝く姿を見せることで、子どもたちが安心して成長できる環境を整え、地域や利用者から共感と信頼を得て、関わる全ての人々が笑顔になれるような職場づくりがされている好事例であるといえる。